

(平成28年度実績)

砺波地域農林振興プラン



平成29年3月作成
富山県砺波農林振興センター

平成28年度 砺波農林振興センター実績表 目次

基本的な取組	主な取り組み	担当課	頁	
砺波農林振興プランの概要			2	
I 新鮮で安全な食の提供	①食の安全確保の推進	担い手支援課	4	
	②食育と地産地消の推進			
	③環境にやさしい農業の普及拡大			
II 消費者の心をつかむ地域産品の育成	④競争力のある農林産物の生産 【高品質で売れる米・大麦・大豆づくりの推進】 【全国一の種もみの生産体制整備】	農業普及課	5	
	【1億円産地づくり等園芸生産の拡大】	担い手支援課	6	
	【畜産経営の持続的な発展】		7	
	【特用林産物の生産振興】	森林整備課	8	
	⑤木材の需要拡大			
III 活力ある人・組織の育成	⑥意欲のある農林業の担い手の育成・確保 【次世代に向けた地域営農体制の構築】 【担い手の経営体質強化】 【人材の育成】農業経営を担う人材の育成	担い手支援課	9	
	【人材の育成】がんばる女性農業者・6次産業化の支援		10	
	【人材の育成】林業の担い手育成			
	⑦森林組合等の経営基盤の強化 【森林組合等の経営基盤の強化】【森林経営計画策定の促進】	森林整備課	11	
	⑧活力ある農村社会の維持 【地域に根ざした土地改良区づくり】	指導課		
	IV 農地・水・農道の効率的な整備	⑨担い手を支援育成する農地整備の推進 【水田の汎用化】	農村整備課	12
		⑩農地を潤す農業水利施設の計画的な整備・更新 【農業水利施設の長寿命化】 【農業用水を利用した小水力発電の推進】		
⑪営農の効率化に対応した農道整備【農道の整備】		13		
V 魅力ある美しい農山村の創造		⑫集落ぐるみによる地域資源の保全・活用 【農地・水保全管理活動の推進】		指導課
	⑬魅力ある美しい農山村の形成 【快適で豊かな農村環境整備】 【都市との交流の推進】			
	⑭中山間地域の活性化 【耕作放棄地の解消・発生防止】 【鳥獣被害の発生防止】	企画振興課	16	
	VI 豊かな森づくり	⑮多様な森づくりの推進 【生産林・混交林・里山林・保全林の区分に応じた森林整備】	森林整備課	17
⑯健全な生産林の育成の生産基盤の整備 【林業生産コストの低減】 【森林・山林を守る路線網整備】		18		
⑰とやまの森を支える人づくりの推進 【県民参加による森づくりの推進】		19		
VII 災害に強い里・山づくり	⑱森林の適正な管理 【カンナガキクイムシによる枯損木の除去、適正な保安林管理等】	森林整備課	20	
	⑲防災対策等の推進【防災対策】 【山地防災対策】	農村整備課 森林整備課		
	⑳速やかな災害復旧対策 【農地・農業用施設・林道等の速やかな復旧】	指導課 森林整備課	21	
			22	

砺波地域農林振興プランの概要

管内農林業・農山村の現状と課題

食をめぐる

- ・ 安全への不安
- ・ 食生活の変化
- ↓
- ・ **食の安全確保**
- ・ **食を通じた交流の推進**

農林業の生産

- ・ 米に特化し、低調な園芸生産
- ・ 県産材の需要の伸び悩み
- ↓
- ・ **園芸作物を取り入れた経営の複合化**
- ・ **地元産材の利用促進と木の良さの普及**
- ・ **県産材の生産コストの低減**

担い手

- ・ 農林業における担い手の減少
- ↓
- ・ **地域を担う意欲ある経営体の育成**
- ・ **森林組合等の経営基盤の強化**

農山村社会

- ・ 集落機能の低下
- ・ 中山間地域の活力低下
- ↓
- ・ **農山村が持つ機能の維持保全**

森林整備

- ・ 里山の多面的機能の低下
- ・ 人工林の手入れ不足
- ↓
- ・ **里山林の整備**
- ・ **間伐等森林整備の推進**
- ・ **森林病虫害の防除**

災害対策

- ・ 頻発する豪雨災害等
- ↓
- ・ **災害の未然防止対策**
- ・ **迅速な災害復旧対策**

基本的な取組

I 新鮮で安全な
食の提供

II 消費者の心をつか
む地域産品の育成

III 活力ある
人・組織の育成

IV 農地・水・農道の
効率的な整備

V 魅力ある美しい
農山村の創造

VI 豊かな森づくり

VII 災害に強い
里・山づくり

人がいとなみ

なんともすばらしい

農林業の振興

主 な 取 組 内 容

①食の安全確保の推進	→	○適正農業規範(GAP)の実践、生産履歴の適正な管理
②食育と地産地消の推進	→	○農業体験の推進 ○直売所等の販売拡大 ○学校給食等における地場産食材の活用の推進
③環境にやさしい農業の普及拡大	→	○環境にやさしい農業の普及 ○エコファーマーの育成
④競争力のある農林産物の生産	→	○高品質で売れる米・大麦・大豆づくりの推進 ○全国一の種もみの生産体制整備 ○1億円産地づくり等園芸生産の拡大 ○畜産経営の持続的な発展 ○特用林産物の生産振興
⑤木材の需要拡大	→	○集約化による低コスト生産の推進と地域材の利用拡大
⑥意欲ある農林業の担い手育成・確保	→	○次世代に向けた地域営農体制構築 ○担い手の経営体質強化 ○経営を支える人材の育成 ○がんばる女性農業者・6次産業化の支援
⑦森林組合等の経営基盤の強化	→	○林業の担い手育成 ○森林経営計画策定の推進 ○森林組合等の経営基盤の強化
⑧活力ある農村社会の維持	→	○地域に根ざした土地改良区づくり
⑨担い手を支援育成する農地整備の推進	→	○水田の汎用化
⑩農地を潤す農業水利施設の計画的な整備・更新	→	○農業水利施設の長寿命化 ○農業用を利用した小水力発電の推進
⑪営農の効率化に対応した農道整備	→	○農道の整備
⑫集落ぐるみによる地域資源の保全・活用	→	○農地・水保全管理活動の推進
⑬魅力ある美しい農山村の形成	→	○快適で豊かな農村環境整備 ○都市との交流促進
⑭中山間地域の活性化	→	○耕作放棄地の解消・発生防止 ○鳥獣被害の発生防止
⑮多様な森づくりの推進	→	○「生産林」「混交林」「里山林」「保全林」の区分に応じた森林整備
⑯健全な生産林の育成と生産基盤の整備	→	○林業生産コストの低減 ○森林・山村を守る路線網整備
⑰とやまの森を支える人づくりの推進	→	○県民参加による森づくりの推進
⑱森林の適正な管理	→	○カシノナガキイムシの枯損木の除去、適正な保安林管理等
⑲防災対策等の推進	→	○防災・減災対策の推進 ○山地防災対策
⑳速やかな災害復旧対策	→	○農地・農業用施設・林道等の速やかな復旧

I 新鮮で安全な食の提供

①食の安全確保の推進

P08 担当 担い手支援課

● 平成 28 年度の取り組み

とやまGAP規範（富山県適正農業規範）について、研修会の開催や経営体をとらえて普及を図った。



(GAP 研修会)

②食育と地産地消の推進

P08 担当 担い手支援課

● 平成 28 年度の取り組み

- ・ 食材供給組織と関係機関との連絡調整会議を定期的に開催し、地元産野菜供給割合30%目標に意思統一を図り、学校給食への食材供給活動支援を行った。
- ・ 地産地消の推進のため、
 - ①野菜栽培、食品表示研修会等開催による資質向上支援
 - ②集客拡大に向けたイベント・新商品開発による売上向上支援
 - ③補助事業等を活用した施設整備支援
 - ④直売組織の育成支援を行った。



(子ども特派員報告)



(となみ野の郷)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
学校給食での地元産使用割合	21%	29%	26%	30%
直売所・加工の農産物販売額(百万円)	380	598	612	457

③環境にやさしい農業の普及拡大

P08 担当 担い手支援課

● 平成 28 年度の取り組み

環境負荷低減に向けた農業生産を推進し、エコファーマーの育成に取り組むとともに、環境保全型農業直接支援対策の取り組みを支援した。

【エコファーマー新規認定者（24経営体）】

○砺波市 7経営体

○南砺市 17経営体



(生物多様性調査)

Ⅱ 消費者の心をつかむ地域製品の育成

④競争力のある農産物の生産

P09 担当 農業普及課

◆高品質で売れる米・大麦・大豆づくりの推進

● 平成 28 年度の取り組み

〈米づくりの重点対策〉

- ・ 一等米比率向上に向け、農家への情報伝達方法を工夫しながら、5/15 を中心とした田植えや土づくり、的確な肥培管理・飽水管理などによる栄養著落防止、カメムシによる斑点米防止、刈取り 5 日前までのかん水・適期収穫による胴割米発生防止を指導した。

〈大麦づくりの重点対策〉

- ・ 単収の向上と全量品質ランク A の格付けを目指し、排水対策を重点に、ドリル播の推進、早生跡での作付推進、止葉展開期追肥の適正化等を指導した。

〈大豆づくりの重点対策〉

- ・ 単収及び品質の向上を図るため、心土破碎・土づくり・畦立播種面積の拡大の推進や栽植本数の確保・培土の徹底・畦間かん水・適期収穫を重点に指導した。



品質向上に向けた稲作管理指導

項目 \ 年度	現状 (H24)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
米 : 一等比率 (%)	88.5	93.8	92.0	90
大麦 : 一等比率 (%)	83.9	93.1	76.4	90
大豆 : 特定加工用 以上比率 (%)	98.5	98.9	79.3	90
水稻直播栽培面積 (ha)	505	778	859	600

P09 担当 農業普及課

◆全国一の種もみ（水稻種子）の生産体制整備

● 平成 28 年度の取り組み

〈水稻種子生産の重点対策〉

- ・ 「収量より品質」をスローガンに合格率の向上に取り組んだ。
- ・ 採種ほ場審査を厳正かつ効率良く進めるために、集落の稲種委員と連携し、採種農家との連絡調整に取り組んだ。
- ・ 厳格な審査を実施するために、種子審査員を対象に現地研修会を開催し、審査技術の習得、向上に取り組んだ。
- ・ 現地研修会や現地ほ場巡回等をとおし、生育状況や異茎発生情報等の提供を行い、適正な生育への誘導、混種事故防止の徹底を図った。
- ・ 生産物審査(発芽検査等)を実施し、良質な種籾生産に取り組んだ。



(採種ほ場審査研修)

項目 \ 年度	現状 (H24)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
水稻種子の圃場 審査合格率 (%)	99.5	98.1	99.1	100

Ⅱ 消費者の心をつかむ地域製品の育成

P10 担当 担い手支援課

◆1 億円産地づくり等園芸生産の拡大

● 平成 28 年度の取り組み

- ・主穀作経営体へ、水田転換畑を活用した機械化一貫体系による野菜生産の導入を推進し、たまねぎやにんにく産地の育成を図った。
- ・たまねぎでは、生育調査に応じた栽培管理を徹底し、収量の増加と経営規模の拡大を推進した。
- ・にんにくでは、収穫作業の研修化等を開催し省力機械化体系の推進を図った。



(たまねぎ収穫作業の省力化)

P10 担当 担い手支援課

- ・とやまブランド品目である干柿やチューリップ球根では、後継者対策と省力機械化を推進した。干柿では、技術継承のための講習会の開催や平棚式乾燥機導入による「あんぼ柿」の増産、球根では、高付加価値品種の導入支援やネット栽培機械等の省力機械の開発を支援した。
- ・小ギクやりんどう等のお盆用切花では、栽培管理指導や開花予測技術による出荷情報の精度向上などにより、県内花き市場との契約出荷を支援し、出荷本数を拡大した。



(球根ネット栽培 植込み・収穫機)

Ⅱ 消費者の心をつかむ地域製品の生産

P11 担当 担い手支援課

◆畜産経営の持続的な発展

● 平成 28 年度の取り組み

- ・安全で高品質な畜産物の生産を基本に、牛群検定・育種価を活用した家畜改良による生産性の向上を図った。
- ・耕畜連携組織の育成等による飼料用稲・飼料用米の生産・利用体制の整備や環境に配慮した良質堆肥の生産・活用など、地域と調和した畜産経営の推進に向けた取組みを支援した。



(耕畜連携による飼料用稲の生産)

P11 担当 森林整備課

◆特用林産物の生産振興

● 平成 28 年度の取り組み

管内で生産している様々な特用林産物の生産技術について、研究機関との連携のもと、情報・技術等の提供を行います。

また、消費の需要拡大を図るため、食の王国フェスタや地域農林祭等の各種イベントを利用して、地元産特用林産物のPR活動を推進します



食の王国フェスタ (テクノホール)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
年間キノコ 生産量	589 t	300 t	238 t	643 t

シイタケ、ナメコ、ヒラタケ、ヤマブシタケなど

⑤木材の需要拡大

P11 担当 森林整備

◆集約化による低コスト生産の推進と地元産材の利用拡大

● 平成 28 年度の取り組み

県産材の安定的供給を図るため、森林経営計画の策定を促進し、間伐等の森林施業の集約化を図るとともに、団地化による安定的な生産を促進します。

また、県産材の利用を促進するため、県産材製品が広く県民の目に触れるような取組を進め、県産材の良さを普及するとともに、公共施設や公共土木工事における県産材の利用を推進します。



低コスト化に向けた森林作業道の整備(南砺市院瀬見)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
管内の素材 生産量	12千m ³	19千m ³	千m ³	19千m ³

Ⅲ 活力ある人・組織の育成

⑥意欲のある農林業の担い手育成確保

P12 担当 担い手支援課

◆次代に向けた地域営農体制の構築

- 平成 28 年度の取り組み
経営感覚に優れた認定農業者や集落営農組織等の担い手育成を行った。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
担い手による 経営面積割合	59%	70%		61%
認定農業者数	272 人	315 人	322 人	280 人
集落営農数*	176 組織	170 組織		180 組織

※集落営農数は、共同利用・共同作業・協業経営の集落営農組織数

P12 担当 担い手支援課

◆担い手の経営体質強化

- 平成 28 年度の取り組み
集落営農組織等の法人化支援を行った。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
法人数	102 法人	143 法人	159 法人	116 法人

Ⅲ 活力ある人・組織の育成

P13 担当 担い手支援課

◆経営を支える人材の育成 ◎農業経営を担う人材育成

● 平成 28 年度の取り組み

就農希望者の就農相談、就農支援を行った。また、農林水産公社等と連携し、研修先、就職先を紹介した。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
新規就農者数	13 人	16 人	28 人	10 人

P13 担当 担い手支援課

◆経営を支える人材の育成 ◎がんばる女性農業者・6次産業化の支援

● 平成 28 年度の取り組み

- ・県がんばる女性農業者支援事業等を活用し、直売施設の改築、加工機械導入による新商品開発や販売支援を行った。
- ・後継者就農をきっかけに新たな家族経営協定締結や協定内容の見直しを行った。



(家族経営協定の調印式)



(女性加工グループ員)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
女性起業数 (組織)	49	48	48	52
家族経営協定 数 (件)	40	42	42	43

Ⅲ 活力ある人・組織の育成

P14 担当 森林整備課

◆経営を支える人材の育成 ◎林業の担い手育成

● 平成 28 年度の取り組み

林業従事者の定着を図るため、高性能林業機械の導入を促進し、労働強度を軽減するほか、関係者と連携を図りながら、労働環境の改善、安全巡回指導や安全講習会の開催により、各林業事業体の安全意識等の高揚を図ることにより、安全で快適な職場環境を形成、現場技能者の育成を図ります。

地域の実情を踏まえながら、将来の森林管理ビジョンを描きながら、施業提案等による森林所有者の合意形成や効率的な集約化施業を実現できる人材に指導・助言します。



林業現場等安全パトロール（南砺市東城寺）

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
担い手数	246 人	198 人	人	251 名
施業プランナー	0 人	6 人	6 人	4 人

⑦森林組合等の経営基盤の強化

P14 担当 森林整備課

◆森林組合等の経営の効率化

● 平成 28 年度の取り組み

◆森林組合等の経営基盤の強化

森林組合等が、地域林業の中核として健全経営を行えるよう、森林施業の合理化経営改善や就業者の確保・育成に必要な施設整備などに支援します。

◆森林経営計画策定の促進

効率的に森林整備を進めていくため、持続的な森林経営を行うための森林経営計画作成の促進、路網整備などに指導・支援します。



森林経営計画作成研修会

P14 担当 指導課

⑧活力ある農村社会の維持 ◆地域に根ざした土地改良区づくり

● 平成 28 年度の取り組み

土地改良区の統合整備を進め、土地改良区の人的・財産基盤の充実を図り、土地改良施設の適切な維持管理を図ります。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
土地改良区数 (組織数)	1 1	1 1	1 1	1 1

Ⅳ 農地・水・農道の効率的な整備

◎担い手を支援育成する農地整備の推進

P15 担当 農村整備課

◆ほ場整備や水田の汎用化

● 平成 28 年度の取り組み

南砺市石黒地域では、農業の生産性向上を目指して大区画ほ場整備事業に取り組んでいる。

また、砺波市若林、東般若、高波地域や南砺市川西、大西地域では、老朽化した支線用排水路の更新や、客土、暗渠排水などによる農地の汎用化対策をすすめ、多様な作物生産が可能となる複合経営の基盤を整備している。



(ほ場整備事業北山田中部東地区：南砺市高島地内)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
ほ場整備面積 (ha)	10,723	10,727	10,727	10,753
水田汎用化整備面積 (ha)	7,700	7,720	7,720	8,000

⑩農地を潤す農業水利施設の計画的な整備・更新

P15 担当 農村整備課

◆農業用施設の長寿命化

● 平成 28 年度の取り組み

【基幹水利施設ストックマネジメント事業】

庄西 1 期地区、庄川 2 期地区、小矢部川 2 期地区が施工中

- ・ H28 年度は、砺波市太田地内で水路補修工事、南砺市白中地内でダムの補修(テレメーター)工事を実施。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
機能保全計画に基づいた水路整備の延長	4km	5.6 km	5.9km	10km

IV 農地・水・農道の効率的な整備

⑩農地を潤す農業水利施設の計画的な整備・更新 P16 担当 農村整備課

◆農業用水を利用した小水力発電の推進

● 平成 28 年度の取り組み

【地域用水環境整備事業】

三合新用水地区
 ・発電施設工事を実施中（発電稼働予定 H30.3）

庄西幹線用水地区
 ・発電施設工事を実施中（発電稼働予定 H30.6）

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
小水力発電 の整備箇所 数	4箇所	7箇所	7箇所	10箇所

⑪営農の効率化に対応した農道整備

P16 担当 農村整備課

◆農道の整備

● 平成 28 年度の取り組み

・幹線農道整備の取り組み無し



（小矢部川なんぶ大橋及び医王山を望む：南砺市才川七地内）

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
幹線農道整備 延長	110,700			110,700

V 魅力ある美しい農山村の創造

⑫集落ぐるみによる地域資源の保全・活用

P17 担当 指導課

◆多面的機能支払交付金活動の推進

● 平成 28 年度の取り組み

集落ぐるみでの保全管理作業や景観創造活動等への取り組みを支援し、地域の人々がふるさとを守る体制と意識づくりを推進します。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
多面的機能支払交付金活動に取り組む組織数	組織 178	組織 238	組織 242	組織 186

⑬魅力ある美しい農山村の形成

P17 担当 指導課

◆快適で豊かな農村環境の整備

● 平成 28 年度の取り組み

砺波平野に広がる散居景観や「アズマダチ・マエナガレ」と呼ばれる伝統的家屋、「カイニョ」と呼ばれる屋敷林により形成されています。また、人々の生活・文化・歴史など、有形・無形の地域資源を次代につなぐ「田園空間博物館となみ野」の活動が、地域住民によって進められています。今後も屋敷林の保全活動への支援や、水辺空間の創造など、快適で豊かな生活環境の整備を図ります。

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
農村景観を活かした地域づくり協定締結数	件 209	件 258	件 260	件 250
生態系フォローアップ調査数(累計)	2箇所	8箇所	10箇所	7箇所

◆都市との交流促進

● 平成 28 年度の取り組み

帰農塾は五箇山、砺波と井波の順で開催され、茅の下草刈り、なぎ畑作業、チューリップ球根の植込み、サツマイモ掘り、里芋掘り、炭やき体験、カイニョのすんば掃き等の農と田舎の生活体験を行った。

棚田保全の取組では、棚田オーナー制度、コーリャク隊の取り組みを行った。



(帰農塾井波講座での炭やき体験：南砺市土山地区内)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
グリーーツーリズム参加者数	人 24,200	人	人	人 24,800
棚田保全活動	10 件	10 件	11 件	12 件

V 魅力ある美しい農山村の創造

P18 担当 企画振興課

⑭中山間地域の活性化 ◆耕作放棄地の解消・発生防止

● 平成 28 年度の取り組み

【耕作放棄地対策】

南砺市楮地区で解消した箇所において引き続き活用促進事業を実施した。それぞれ箇所で草刈ボランティアを実施した。楮地区では企業の CSR 活動として取り組んだ。

【中山間地域等直払制度】

平成 27 年度から第 4 期対策となり、H28 年度から、協定農地の一部耕作放棄地が発生した場合、一定要件を満たせば、遡及返還規定が全ての農地から該当農地のみとする変更がなされた。



(ボランティアによる草刈り作業：砺波市庄川金屋地内)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
耕作放棄地解消面積	0ha	1ha	1ha	10ha
中山間地域直接支払協定締結集落数	107 集落	108 集落	108 集落	115 集落

P18 担当 企画振興課

⑭中山間地域の活性化 ◆鳥獣被害の発生防止

● 平成 28 年度の取り組み

近年、イノシシによる農作物被害が急増していることから、以下の取り組みを行った。

- ① 県や市鳥獣被害対策推進協議会与連携し、イノシシ被害防止研修会を開催
 - ・電気柵設置研修会（南砺市）
 - ・農産物鳥獣被害防止対策現地研修会(県)
 - ・鳥獣被害防止研修会（砺波市）
- ② 市やJAからの被害状況の聞き取り
- ③ HPや広報誌を活用した鳥獣被害防止対策の情報提供
- ④ 狩猟免許取得への啓発活動

その結果、電気柵設置に取り組まれるとともに、集落とハンターが連携協力した捕獲体制が進みました。



(箱わなで捕獲されたイノシシ 南砺市山本地内)

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
イノシシによる農作物被害額	363 万円	657 万円	297 万円	657 万円

VI 豊かな森づくり

⑮多様な森づくりの推進

P19 担当 森林整備課

◆「生産林」「混交林」「里山林」「保全林」の区分に応じた森林整備

● 平成 28 年度の取り組み

富山県森づくりプランの「とやまの森づくり基本方針」に沿って、「生産林」「混交林」「里山林」「保全林」の区分に応じた森林整備を推進します。

特に「里山林」や「混交林」整備については、県民参加による森づくりの観点から、「水と緑の森づくり税」を活用し推進することとします。



里山再生整備された森林（南砺市七村）

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
里山林 の整備	390ha	787ha	865ha	780ha
混交林 の整備	100ha	229ha	244ha	220ha

⑯健全な生産林の育成と生産基盤の整備

P19 担当 森林整備課

◆林業生産コストの低減

● 平成 28 年度の取り組み

森林の質的な向上を図り、森林が有する公益的機能を発揮させるため、計画的に間伐等の施業を実施するとともに、施業と一体となった林業専用道・森林作業道等の整備や施業の集約化を推進します。

また、林業生産コストを低減させるため、高性能林業機械の積極的活用を図り、併せて作業の安全確保に努めます。



高性能林業機械による低コスト作業（南砺市坂本）

	現状 (H23)	実績 (H27)	実績 (H28)	目標 (H28)
作業道 延長	385km	512km	547km	441km

◆森林・山村を守る路線網整備**● 平成 28 年度の取り組み**

県民の森林に対するふれあいの機会を増やし、山村と都市との交流促進等を図るとともに、木材の効率的な搬出や林業従事者の広域活動を可能とするため、幹線となる林道を重点的に整備します。



林道を利用した木材の搬出状況（高成 1 号線）

VI 豊かな森づくり

⑰とやまの森を支える人づくりの推進

P20 担当 森林整備課

◆県民参加による森づくりの推進

●平成28年度の取り組み

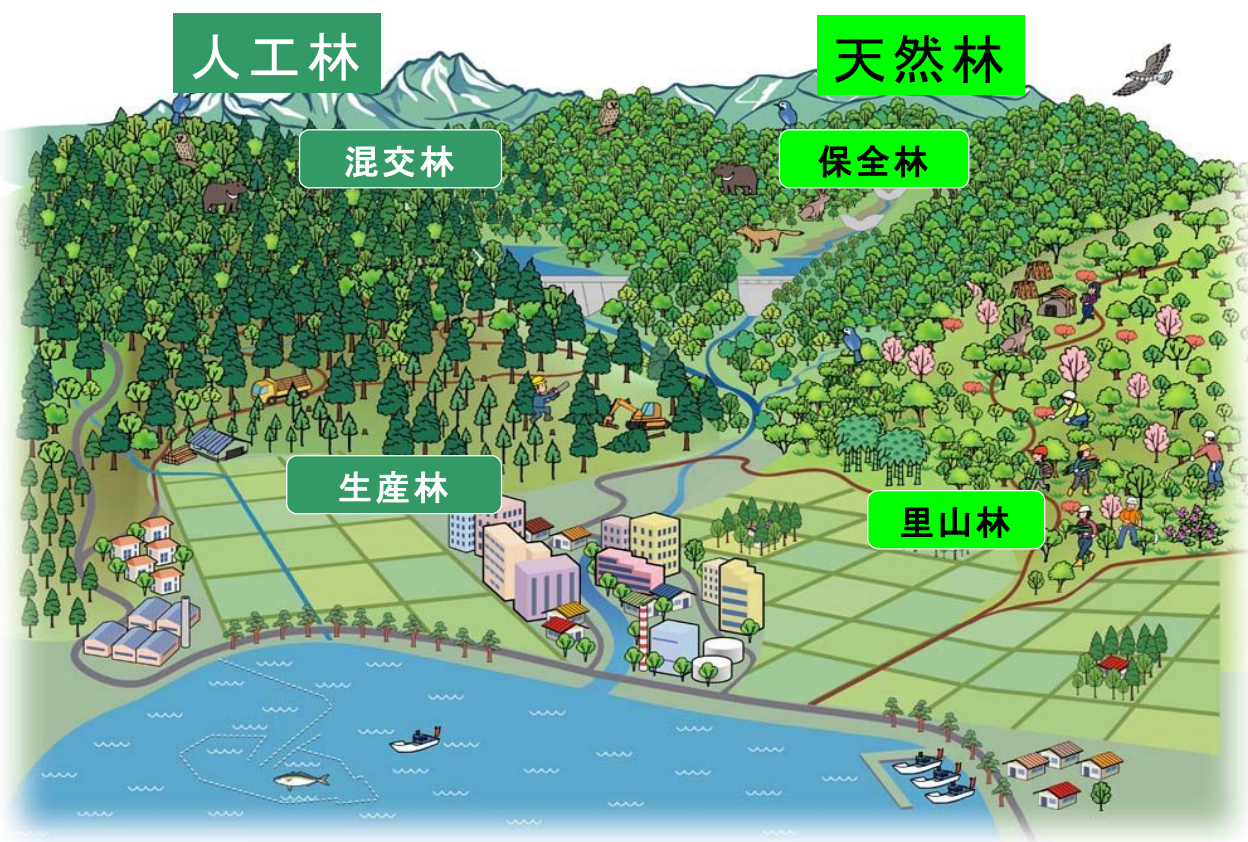
森林所有者や地域住民による管理困難な荒廃森林が多い状況から、森づくりへの県民の意識を深めていくほか、行政と県民が一体となった県民参加の森づくり活動を推進します。

また、とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。

さらに児童・生徒をはじめ広く県民に森づくりに関する理解を深めてもらうため、フォレストリーダーが指導する出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催し、森林環境教育の機会を提供します。



企業の森づくり（南砺市栃原）



Ⅶ 災害に強い里・山づくり

⑱ 森林の適正な管理

P21 担当 森林整備課

◆カシノナガキクイムシの枯損木の除去、適正な保安林管理等

● 平成 28 年度の取り組み

適正な保安林管理等

マツクイムシやカシノナガキクイムシ等の森林病虫害を防除することにより、森林被害の拡大防止を図るとともに、里山林や主要道路沿線において、カシノナガキクイムシによる枯損木除去や植栽を行い、災害の防止や景観の保全を図ります。

また、保安林の違法伐採や無許可作業をパトロールするなど、適正な管理に努めるとともに、土砂採取などの林地開発許可にあたっては適切な指導を行います。



マツクイムシ被害対策薬剤樹幹注入研修（砺波市頼成）

⑲ 防災対策等の推進

P21 担当 農村整備課

◆防災・減災対策の推進

● 平成 28 年度の取り組み

庄川左岸中・下流域での、度重なる農作物や宅地等への溢水被害を防止するため、国営総合農地防災事業及び国営附帯県営農地防災事業でバイパス水路の新設や排水路の改修、洪水調整池等を整備します。国営事業は 21 年度から着工となり、附帯県営事業も 22 年度から着工しました。



（狐島調整池：砺波市狐島地内 平成 25 年 8 月豪雨）

排水路改修	現状 (H23)	実績 (H27 迄)	実績 (H28)	目標 (全体)
国 営	4.7km	16.1km	2.0km	18.6km
附帯県営	3.0km	20.6km	3.5km	40.7km
地すべり対策	—	継続 2 地区	概成 1 地区 継続 1 地区	概成 2 地区

Ⅶ 災害に強い里・山づくり

P22 担当 森林整備課

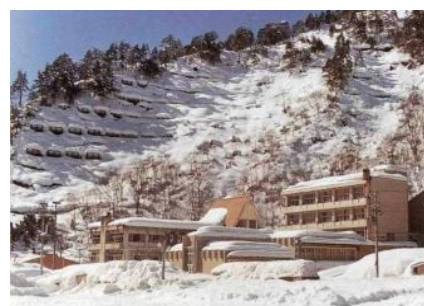
◆ 山地防災対策 ---災害に強い森林づくり---

平成 28 年度の山地防災対策の実施状況

人家集落に近接する災害危険箇所においては、土砂災害や雪崩等の災害防止のため、土留工や雪崩防止柵などの治山施設の設置と周辺森林の整備を一体的に実施し、災害に強い森林づくりを目指した治山事業を重点的に実施します。

また、集中豪雨などの突発的な災害による土石流の発生にも対応した治山ダムの設置や林地の地すべり対策に努めます。

治山事業（種類）	（当初）	（追加）	（当初）	（追加）
	H27	H27 補正	H28	H28 補正
復旧治山事業	2 箇所	1 箇所	2 箇所	—箇所
予防治山事業	3 箇所	—箇所	1 箇所	—箇所
緊急予防治山事業	—地区	—地区	2 地区	—地区
奥地保安林保全緊急対策事業	2 地区	—地区	3 地区	—地区
保安林改良事業	1 箇所	—箇所	1 箇所	—箇所
保育事業	4 箇所	—箇所	4 箇所	—箇所
地すべり防止事業	4 地区	—地区	4 地区	—地区
防災林造成事業	1 箇所	—箇所	2 箇所	—箇所
環境防災林整備事業	2 地区	—地区	1 地区	—地区
県単独治山事業	8 箇所	3 箇所	7 箇所	2 箇所
工事費	608 百万円	52 百万円	622 百万円	96 百万円



雪崩から公共施設を守る
雪崩防止施設と防災林

（南砺市皆養）

治山事業の実施により保全される面積（単位:ha）

施工面積	H27	H28
溪間工	2.5	2.8
山腹工	2.5	1.4
保育	134.3	121.0
合計	139.3	125.2

⑳速やかな災害復旧対策

P22 担当 指導課・森林整備課

◆農地・農業用施設・林道等の速やかな復旧

● 平成 28 年度の取り組み

近年、短時間に強い雨がゲリラ的に降る傾向が顕著になっており、自然災害はいつ起きても不思議ではない状況にあります。

農地・農業用施設・林道等の被災箇所については、一刻も早く復旧工事を実施し、安定した農林業生産の確保を図ります。



災害発生件数	実績 (H27)	実績 (H28)
農地	0	0
農業用施設	0	1
林道	0	2
治山	0	1